



日本国民のための より良い医学教育創設

—全ての利権と思惑を超えて—

山形大学医学部長

嘉山 孝正

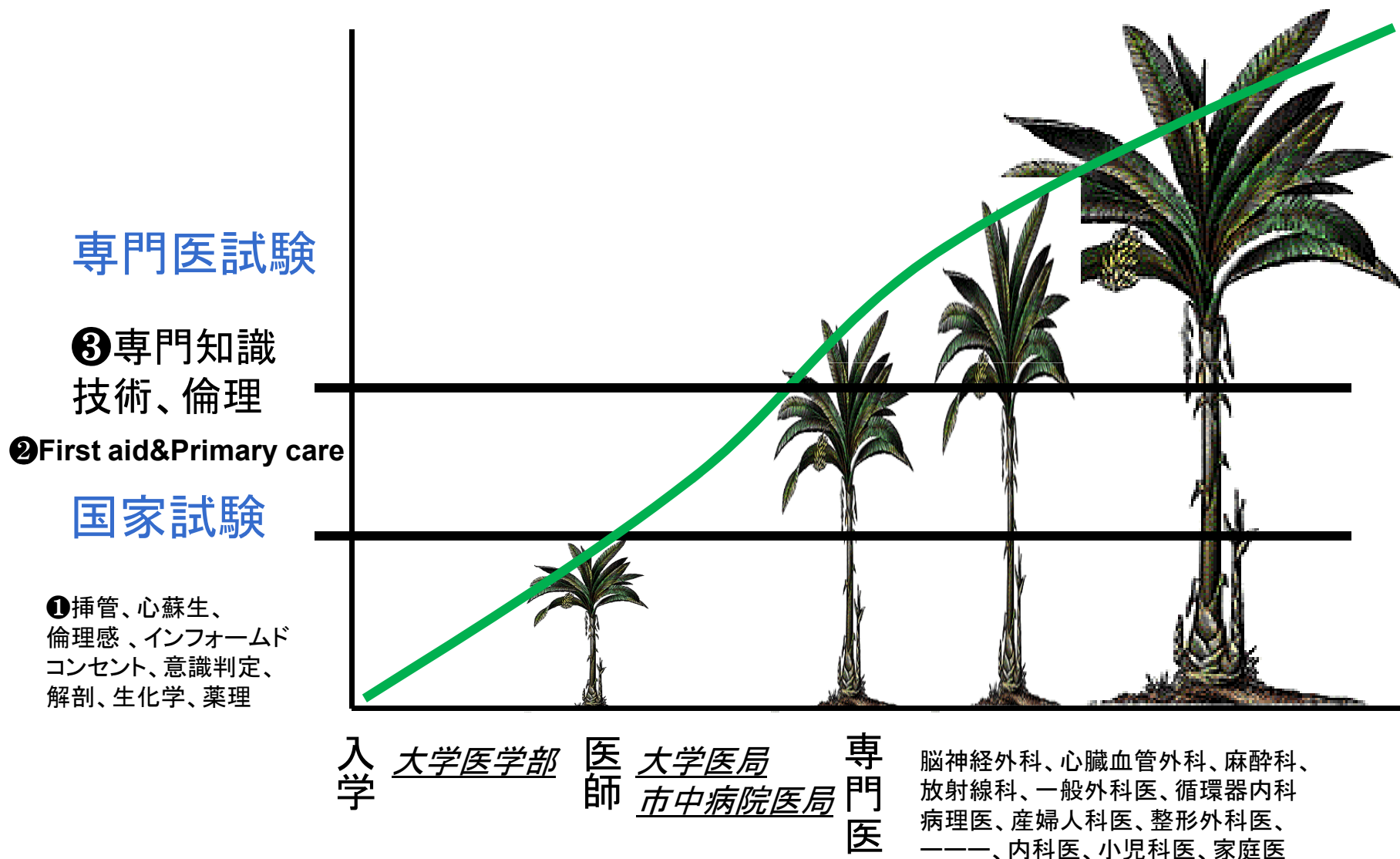
平成21年2月18日

第6回臨床研修制度のあり方等に関する検討委員会資料



新臨床研修制度以前の日本の医師の成長

獲得目標





日本の医療は世界一

WORLD HEALTH ORGANIZATION



The
WORLD
HEALTH
REPORT
2000

*Health Systems:
Improving Performance*



WHO Health Report 2000

Health system attainment and performance in all Member States, ranked by eight measures

Member State	ATTAINMENT OF GOALS					Overall goal attainment
	Health		Responsiveness		Fairness in financial contribution	
	Level (DALE)	Distribution	Level	Distribution		
Afghanistan	168	182	181 – 182	172 – 173	103 – 104	183
Albania	102	129	136	117	173 – 174	86
Algeria	84	110	90 – 91	50 – 52	74 – 75	99
Andorra	10	25	28	39 – 42	33 – 34	17
Italy	6	14	22 – 23	3 – 38	45 – 47	11
Jamaica	36	87	105 – 107	73 – 74	115	69
Japan	1	3	6	3 – 38	8 – 11	1
Jordan	101	83	84 – 86	53 – 57	49 – 50	84
Kazakhstan	122	52	90 – 91	60 – 61	167	62
United Kingdom	14	2	26 – 27	3 – 38	8 – 11	9
United Republic of Tanzania	176	172	157 – 160	150	48	158
United States of America	24	32	1	3 – 38	54 – 55	15



(朝日新聞2000 (H12). 3.23)

患者取り違え手術で起訴 横浜地裁が
 横浜地裁が6人
 横浜地裁が6人

た「な」でして、手術で
 同院の産科(産婦人科)外科
 部長と産科医(助産師)と
 助産師と産科医(助産師)と
 助産師と産科医(助産師)と
 助産師と産科医(助産師)と

医療事故は
 プライマリ・
 ケアで起きて
 いるわけでは
 ない!

**手術中に出血死
産婦人科医起訴**
 福島県大熊町の県立大野
 病院で2004年12月、帝王
 切開の手術中に同県内の
 女性(当時29歳)が出血性

ショックで死亡した事故
 で、福島地裁は10日、手術
 を執刀した産婦人科医師の
 加藤亮彦容疑者(38)を業務
 上過失致死と医師法(真状
 死体の届け出義務)違反の
 罪で福島地裁に起訴した。
 起訴状によると、加藤容
 疑者は、胎盤が子宮に癒着
 疑り、大出血する可能性を
 認識していたにもかかわらず
 ず、本来行うべき子宮摘出
 などを行わず、胎盤を無理
 にはがして大出血を引き
 起したとされる。また、
 医師法で定められた24時間
 以内の警察への届け出をし
 なかったとされる。

(読売新聞 2006 (H18). 3.11)

2002年(平成14年)8月3日 土曜日 東京 日 薬 局

杏林大医師を在宅起訴
 東京地検「男児救えた可能性」
 割りばし事故

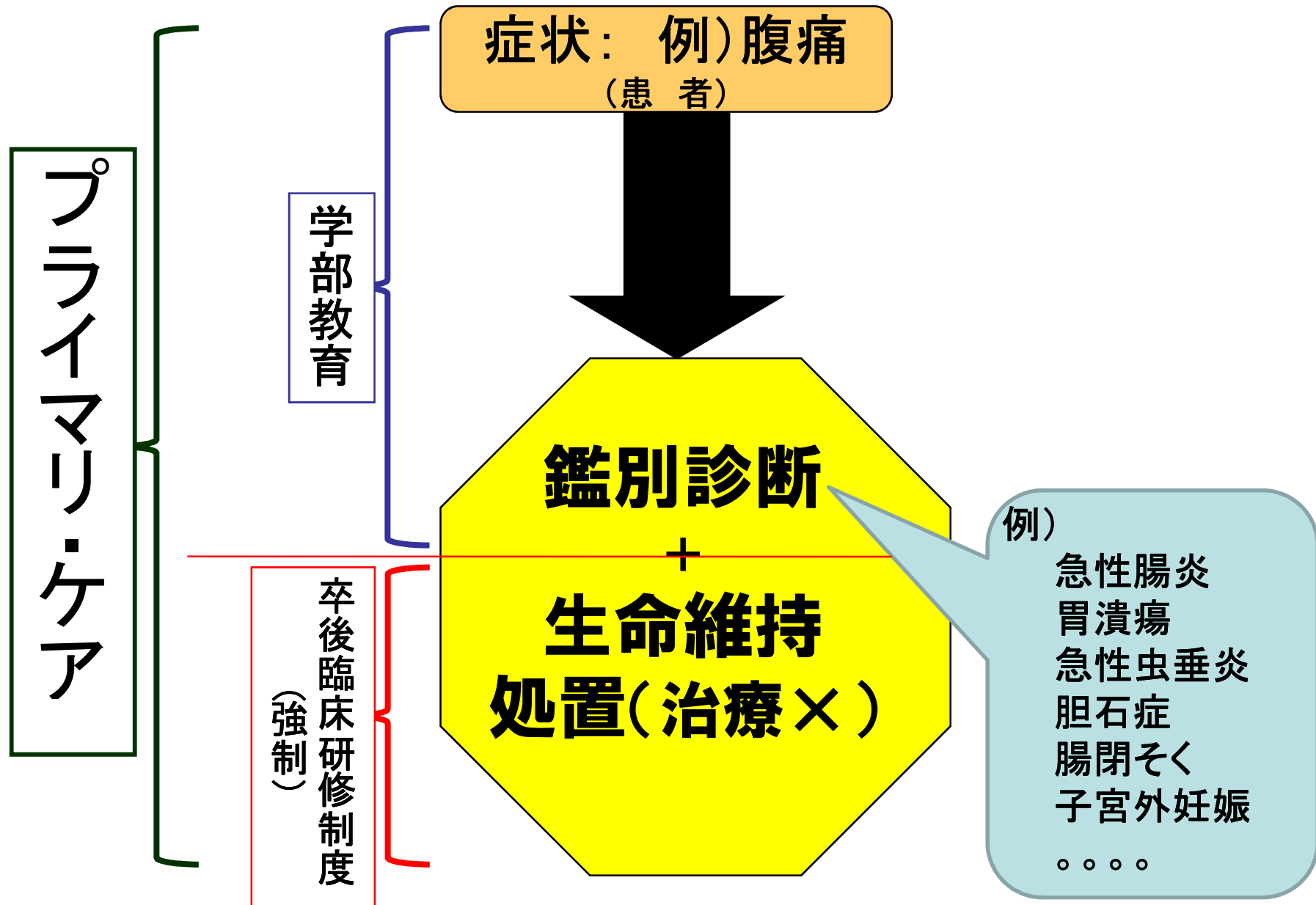
「立証困難と言われる
 医師の指紋ミスを起訴し
 てくれた。大きな産業
 り起えたことに感謝して
 います」
 根本医師が起訴された
 との連絡を受け、年三
 ちゃんの父(姓を隠す)は
 は少しだけ笑顔を見せ
 た。届間に飾られた遺
 影を見上げ、「年三も
 私たちの幸せも戻って
 こないけれど、大きな
 前進です」とうまい
 た。東京地検は先月、東京
 女子医大病院の産科シス
 テムで医師を立件した。「少
 しでもこの流れが確立し
 てほしい」。正義感が
 麗々とした。
 一方、石井良章・杏林
 大付属病院長は「根
 本医師が起訴された事
 件は、私たちが医療界
 に受け止めていた。た
 んだ、当時は救急医療し
 て最善の努力を尽して
 おり、過失はなかったと
 思う」とコメントした。
 あめの割りばしが刺さっ
 て同病院に運び込まれ
 た。診察中も医師は「意
 識が低下していったりし
 ており、頭部内損傷が
 疑われたが、根本医師
 は「頭部をCTスキャン
 で撮影するまで、脳神
 経外科医に引継ぐこと
 もせず、傷口消毒を
 するなどにたがって過失
 が発生した」として、
 約15分後、頭部内損
 傷で死亡した。

遺族「大きな壁越えた」

「立証困難と言われる
 医師の指紋ミスを起訴し
 てくれた。大きな産業
 り起えたことに感謝して
 います」
 根本医師が起訴された
 との連絡を受け、年三
 ちゃんの父(姓を隠す)は
 は少しだけ笑顔を見せ
 た。届間に飾られた遺
 影を見上げ、「年三も
 私たちの幸せも戻って
 こないけれど、大きな
 前進です」とうまい
 た。東京地検は先月、東京
 女子医大病院の産科シス
 テムで医師を立件した。「少
 しでもこの流れが確立し
 てほしい」。正義感が
 麗々とした。
 一方、石井良章・杏林
 大付属病院長は「根
 本医師が起訴された事
 件は、私たちが医療界
 に受け止めていた。た
 んだ、当時は救急医療し
 て最善の努力を尽して
 おり、過失はなかったと
 思う」とコメントした。

(朝日新聞 2002 (H14). 8.3)

プライマリ・ケアに求められること





卒後臨床研修の陰